

## 第131回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和8年1月23日（金） 13：30～15：17

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB（Teams 使用）

出席者 藤澤議長（学長）、  
角元委員、坂井委員、佐野委員、高梨委員、西本委員、伯井委員、  
宮田委員、八木谷委員、山谷委員、木戸委員、玉置委員、河端委員、  
喜多委員、奥村委員、松尾委員、森山委員、荒木委員

（オブザーバー）濱田監事、山上監事、玉岡副学長、向井副学長、黒田副学長、  
大川副学長、福本副学長、宮脇副学長、  
佐藤人間発達環境学研究科長、金京経済学研究科長、  
平山海事科学研究科長、村上医学研究科長

欠席者 齋藤委員、久元委員、柿原委員

議事要録について

第130回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会  
として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

### 1 国立大学法人神戸大学学則の一部改正について

技術連携推進本部、学術・社会共創機構、高等教育推進機構、国際共創推進本部、国際コミュニケーションセンター及びアドミッションオフィスを設置することに伴い、国立大学法人神戸大学学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

### 2 国立大学法人神戸大学職員給与規程等の一部改正について

一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律が公布された場合は本学においても人事院勧告に準拠すること、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律が公布されたこと、および技術連携推進本部を設置することに伴い、以下の規程等を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

- 1 国立大学法人神戸大学職員給与規程
- 2 国立大学法人神戸大学年俸制適用職員給与規程
- 3 国立大学法人神戸大学年俸制適用教員（退職手当支給型）給与規程
- 4 国立大学法人神戸大学船員就業規則

- 5 国立大学法人神戸大学再雇用職員就業規則
- 6 国立大学法人神戸大学準正規職員就業規則
- 7 国立大学法人神戸大学特定有期雇用医療職員就業規則
- 8 国立大学法人神戸大学役員報酬規程

○ 人事院勧告への対応は、国立大学間で足並みが揃わなくなっている。神戸大学では令和7年4月まで遡及するということが、実状を教えてほしい。

→ 他大学の状況を見ながら、十分検討をしたうえ、基本給、月例給、賞与の引き上げについては令和7年4月まで遡及をすることを労働組合とも話し合った。神戸大学は、平成17年の役員会決定で人事院勧告には基本的に準拠する方針としている。地域手当の引き下げの影響があるため、来年以降のことも考慮し、今年に関しては遡及することを決定した。

→ 安定財源の確保が必要であるが、現時点でのシミュレーションでは問題ないと見込んでいる。職員のモチベーションを上げるためにも、可能な限りは給与を上げていきたい。外部資金の獲得状況を考えながら、来年以降も長期的な計画を立てていく。

### 3 非常勤職員等の定額単価のR8. 4. 1改定について

令和7年人事院勧告に伴い、非常勤職員のうち定額単価となっている職の単価改定案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

### 4 中期目標・中期計画の変更について

本学の土地及び建物の譲渡並びに収容定員の変更に伴い、中期計画を変更することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

## 報告事項

### 1 芦屋市との包括連携協定締結について

市民参画協働による豊かな地域社会の活性化と住民が安心して暮らせる地域づくりに資することを目的として、芦屋市との包括連携に関する協定を締結したことについて報告があった。

### 2 令和8年度予算案等の概要について

国立大学法人等における令和8年度当初予算（案）、令和7年度補正予算の概要及び施設整備実施予定事業並びに令和8年度の入学定員について報告があった。

○ 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の算定については、例えば、共同・受託研究や人事給与マネジメント改革で成果が見られる一方、卒業・修了者の就職・進学等の状況で一部の学系において偏差値が低い。これについては、卒業生と連絡が取れていないことが原因と思われることから、改善が可能である。各研究科へ報告し、具体的な対策を講じてはどうかと思う。

→ 卒業後の進学等の状況については、徹底的に調査するよう、今年の年頭挨拶や部局長会議等で学長より申し上げている。フォローアップも徹底する予定である。

→ 今年から研究科ごとの状況を示し、成果に基づきインセンティブを付与するようにしている。最も大事なものは、研究科長が研究科へどのように浸透させるかである。運営費交付金もKPIの評価が高ければ資金が循環するという意識を徹底する必要がある。

○ 成果実績に基づく配分形式は継続する予定であるため、今後も部局ごとの実績をしっかりと示して取り組みを促していただきたい。  
運営費交付金および科学研究費補助金等の研究費が、来年度予算案では大きく増額している。神戸大学においては引き続き、国立大学法人の研究基盤充実に向けて要望・要請のPRを強化していただきたい。

○ 基幹運営費交付金のミッション実現加速化係数は恒久的に廃止なのか。また、昨今のインフレに鑑み、授業料の値上げについて、将来的な構想はどう考えているか。

→ ミッション実現加速化係数については、恒久的に廃止と理解している。授業料について、直近で上げることは考えていない。将来、自助努力をしたうえで固定経費が賄えない状況であれば、地政学的な観点も考慮しながら検討するが、安易に上げることは避けたい考えである。

### 3 病院セグメント 令和7（2025）年度着地予想について

病院セグメント 令和7（2025）年度着地予想について報告があった。

○ しっかりと運営され、成果が出てきていると感じた。  
常勤教員の人件費の着地予想について、前年度の実績よりも下がっているが、人事院勧告の対応分は含まれているのか。また、補正予算を含めるとどうなるのか。

→ 教員数が減ったため、常勤教員の人件費が下がっている。一方で職員全体では増えているため、総人件費は上がっている。新たな補助金については獲得のために準備をしている。

### 4 共創の場形成支援プログラム（未来共創分野）の採択結果について

共創の場形成支援プログラム（未来共創分野）が採択されたことについて報告があった。

○ このようなプログラムを取得していくことは、周辺大学との差別化につながる施策の一つである。今後も執行部のリーダーシップのもと、教育研究の断続的な強化に努めていただきたい。

5 令和8年度経営協議会開催予定について  
令和8年度経営協議会開催予定について報告があった。

◎ 次回は、令和8年3月27日に開催予定。